

演習問題 1.33

2つの離散確率変数 x, y の間の条件付きエントロピー $H[y|x]$ が 0 であるとする。すると、 $p(x) > 0$ なるすべての x の値に対し、変数 y は x の関数でなければならない、すなわち、各 x に対して、 $p(y|x) \neq 0$ である y が唯一つ存在することを示せ。

[エントロピー]

$$H[x] = - \int p(x) \ln p(x) dx \quad \cdots (1.104)$$

[x に対する y の条件付きエントロピー]

$$H[y|x] = - \int \int p(y, x) \ln p(y|x) dy dx \quad \cdots (1.111)$$

[相互情報量 (カルバック – ライブラーダイバージェンス)]

$$I[x, y] = KL(p(x, y) \| p(x)p(y)) = - \int \int p(x, y) \ln \left(\frac{p(x)p(y)}{p(x, y)} \right) dx dy \quad \cdots (1.120)$$

[相互情報量の関係式]

$$I[x, y] = H[x] - H[x|y] = H[y] - H[y|x] \quad \cdots (1.121)$$

[解]

各 x に対して、 $p(y|x) \neq 0$ である y が唯一つ存在することを示す。相互情報量の関係式 (1.121) より、

$$I[x, y] = H[y] - H[y|x]$$

が成り立つ。また、前提として、2つの離散確率変数 x, y の間の条件付きエントロピー $H[y|x]$ が 0 であるとしているため、上記の式から、

$$I[x, y] = H[y]$$

となることがわかる。式 (1.104) と式 (1.120) を用いて、上記の式を解くと、

$$\begin{aligned} - \sum_x \sum_y p(x, y) \ln \left(\frac{p(x)p(y)}{p(x, y)} \right) &= - \sum_y p(y) \ln p(y) \\ \sum_x \sum_y p(x, y) \ln \left(\frac{p(x)p(y)}{p(x, y)} \right) &= \sum_x \sum_y p(x)p(y) \ln p(y) \end{aligned}$$

となり、さらに確率の乗法定理を用いて、

$$\sum_x \sum_y p(x, y) \ln \left(\frac{p(x)p(y)}{p(y|x)p(x)} \right) = \sum_x \sum_y p(x)p(y) \ln p(y)$$

$$\sum_x \sum_y p(x, y) \ln \left(\frac{p(y)}{p(y|x)} \right) = \sum_x \sum_y p(x) p(y) \ln p(y)$$

と整理できる。このことから、上記の式を満たすためには、

$$p(x, y) = p(x) p(y) \text{ かつ } \frac{p(y)}{p(y|x)} = p(y) \Leftrightarrow p(y|x) = 1$$

でなければならないことがわかる。以上より、各 x に対して、 $p(y|x) = 1$ となることより、 $p(y|x) \neq 0$ である y が唯一つ存在することが示せた。